

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	保育内容指導法（造形表現）				授業形態	講義			
科目コード	750072	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	園田 博一							ICT活 用	○
授業概要	<p>本授業では、幼稚園教諭や保育士の養成を目的としている。幼児教育の教育者として必要な「表現（造形）」に関する基礎的な理解を得るための講義（演習）である。幼児期の造形表現の特性を知り、子どもを実際を学習する。幼児の理解、教育現場の情報理解を並行して学ぶ。実際の作品例を通して、多様な視点、柔軟な対処を学ぶ。指導の範囲と援助の意味を特に深く考える内容で授業を進める。</p>								
関連する科目	教科教育法（図画工作） 図画工作演習、図画工作								
授業の方法と進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・使用テキストにより幼児期の造形表現について学習する。 ・子どもの表現を理解し、発達段階の理解につなげる。 ・造形における多様な表現を体験し、表現の幅を広げる。 ・表現の基礎となる素描力を身に着ける。 								
授業計画【第1回】	<p>オリエンテーション、授業者紹介、自己紹介、授業の受け方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の中の造形表現とは何か。 								
授業計画【第2回】	今日の幼児造形教育について、歴史と背景を解説する。								
授業計画【第3回】	<p>幼児造形表現の発達と様式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作例を提示しながら、年齢と対応した表現の在り方を解説する。 								
授業計画【第4回】	<p>幼児画の特徴（様式）、構図と描法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作例を解説しながら、幼児画について学ぶ。 								
授業計画【第5回】	<p>描画材料と素材 演習①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児にとって身近な素材を取り上げる。鉛筆とクレヨン、色鉛筆等。 								
授業計画【第6回】	<p>描画材料と素材 演習②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具を使った表現を体験する。筆、フィンガーペインティングを体験する。 								
授業計画【第7回】	<p>幼児造形教育の目標と内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使い解説していく。 								
授業計画【第8回】	<p>幼児造形教育の目標と内容②</p> <p>豊富な事例を解説し、深化を図る。</p>								
授業計画【第9回】	<p>幼児造形教育の目標と内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者が考えた、造形についての取り組みを実現化する。 								
授業計画【第10回】	<p>幼児造形教育の実際①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習のフィンガーペインティングを使った作品作りに取り組む。 								
授業計画【第11回】	<p>幼児造形教育の実際②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく、ローラーを使ったペインティング表現を試みる。 								

授業計画 【第12回】	幼児造形教育の実際③ ・ 室外で収集した、落ち葉を使っての造形活動を行う。
授業計画 【第13回】	幼児造形教育の実際④ ・ 校庭の砂場で、どろ団子づくりに挑戦する。
授業計画 【第14回】	幼児造形教育の実際⑤ ・ 造形遊び（身近なものを使って）、新聞紙を使った簡単な造形遊びの体験をする。
授業計画 【第15回】	幼児造形教育の実際⑥ ・ 保育案・指導案の書き方 レポートとしてまとめる
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に基づいて、幼児造形表現の目標と内容を理解する。 ・ 幼児の造形表現の特徴について具体的な作品を通して理解する。 ・ 幼児画と児童画と大人の絵画の違いを認識する。 ・ 幼児造形教育の方法の中で援助と指導の在り方を深く理解する。 ・ 実際に活動し、制作する中で材料や用具、技術について学ぶ。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学習 【予習】	子どもの頃の、遊びについて思い出し、体験をまとめておく。
授業時間外の学習 【復習】	学修したことを再現してみる。生活の中で試行してみる。
課題に対する フィードバック	テキストに沿って進める授業で、学んだことを要約整理するレポートの評価。実習で学んだ描画の理解度の評価を対象とする。
評価方法・基準	・ 実技課題への積極的取り組み、提出課題の評価及びレポート等、提出物の採点による方法でその割合は、授業中の参加態度（質問や発問を含む制作意欲）：40%、提出課題：30%、レポート：30%とする。
テキスト	・ 保育をひらく造形表現 榎英子 2415円 大学生協で販売、購入すること。
参考書	『保育所保育指針解説』厚生労働省 『幼稚園教育要領解説』文部科学省 『チゼックの美術教育』w・ヴィオラ著（黎明書房） 『美術による人間形成』ローエンフェルド 『美術による教育』ハーバード・リード
備考	※受講生は、実技演習ができる服装が望ましい。（準備内容については、事前に予告する。）